

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公開番号】特開 2014-164759 (P2014-164759A)

【公開日】平成 26 年 9 月 8 日 (2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報 2014-048

【出願番号】特願 2014-30681 (P2014-30681)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/10 (2006.01)

G 0 6 F 3/06 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/10 3 4 0 A

G 0 6 F 3/06 3 0 1 F

G 0 6 F 13/10 3 3 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 17 日 (2017.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

装置であって、

ホストに応答する通信インターフェースと、

プロセッサと、

前記装置が前記ホストから取り外し可能であるように、前記通信インターフェースおよび前記プロセッサを含むハウジングとを備え、

前記プロセッサは、

前記通信インターフェースを介して前記ホストからコマンドを受信することと、

前記装置のアーキテクチャに依存しないプラットフォーム独立型プログラムインターフェースを使用して、前記コマンドを処理することと、

前記通信インターフェースを介して前記コマンドの結果を前記ホストに返すことと、を行うように構成される、装置。

【請求項 2】

前記ハウジングに接続されるデータ記憶媒体を更に備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記プロセッサは、前記コマンドがアプリケーションコマンドであるか、またはデータ記憶コマンドであるかを判定することを行うようにさらに構成され、前記アプリケーションコマンドは、前記プラットフォーム独立型プログラムインターフェースによって行われる操作を含み、前記データ記憶コマンドは、読み込みコマンドまたは書き込みコマンドを含み、

前記プロセッサは、

前記コマンドがアプリケーションコマンドであるとき、前記プラットフォーム独立型プログラムインターフェースを使用して、前記コマンドを処理することと、

前記コマンドがデータ記憶コマンドであるとき、データを記憶または取得することと、を行うようにさらに構成される、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記プラットフォーム独立型プログラムインターフェースを使用して、前記コマンドを処理することを更に含むことは、

前記コマンドに関連付けられたデータを前記データ記憶媒体から取得することと、

前記コマンドに従って、前記データを処理することと、を含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記コマンドを更に含むことは、前記プラットフォーム独立型プログラムインターフェースを使用して、実行されるように設計されたコンピュータコードを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記プラットフォーム独立型プログラムインターフェースを更に備えることは、命令セットを実行するように構成される論理回路を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記プラットフォーム独立型プログラムインターフェースを更に備えることは、前記プロセッサ上で実行されるコンピュータ読み取り可能な命令を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

前記コマンドは、処理されるデータと、前記データをどのように処理するのかについての命令と、を含む、

前記プロセッサは、前記命令に従って、前記プラットフォーム独立型プログラムインターフェースを使用して、前記コマンドを処理するように更に構成される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記コマンドを更に含むことは、前記ホスト上で実行される処理の部分処理を行うための命令を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

前記装置のオペレーティングシステムに依存しない前記プラットフォーム独立型プログラムインターフェースを更に備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 11】

システムであって、

ホストと、

データストレージ装置とを備え、

前記データストレージ装置は、前記ホストに応答する通信インターフェースと、プロセッサと、

前記データストレージ装置が前記ホストから取り外し可能であるように、前記インターフェースおよび前記プロセッサを含むハウジングとを含み、

前記プロセッサは、

前記通信インターフェースを介して前記ホストからコマンドを受信することと、

仮想マシンを使用して前記コマンドを処理することと、

前記通信インターフェースを介して前記コマンドの結果を前記ホストに返すことと、を行うように構成され、

前記仮想マシンは、前記データストレージ装置の構造アーキテクチャに依存しない、システム。

【請求項 12】

データを前記データストレージ装置に記憶することと、

前記コマンドを前記データストレージ装置に発行することとを行うように構成されるホストを更に備え、

前記コマンドは、前記仮想マシンを使用して生データを処理するための命令を含む、請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 13】

方法であって、

データストレージ装置でホスト装置からコマンドを受信するステップと、

前記データストレージ装置のアーキテクチャに依存しないプラットフォーム独立型プログラムインターフェースを使用して、前記データストレージ装置で前記コマンドを処理するステップと、

前記コマンドの結果を前記データストレージ装置から前記ホストへ返すステップと、を含む、方法。